

令和元年 10 月 1 日
消 防 庁**「令和 2 年度危険物安全週間推進標語」及び
「令和元年度危険物事故防止対策論文」の募集**

消防庁では、危険物を取り扱う事業所における自主保安体制の確立を図り、危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を推進するため、「令和 2 年度危険物安全週間推進標語」及び「令和元年度危険物事故防止対策論文」を募集します。

1 令和 2 年度危険物安全週間推進標語

消防庁では、毎年 6 月の第 2 週を「危険物安全週間」とし、危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を全国的に推進しています。この「危険物安全週間」を推進し、危険物の保安に対する意識の高揚を図るため、「危険物安全週間推進標語」を募集します。

募集期間 令和元年 10 月 1 日（火）～ 令和元年 12 月 10 日（火）

募集要項 どなたでも応募できます。詳細は別添 1 を御覧ください。

表彰 入賞者には、賞状及び副賞又は記念品を授与します。

最優秀作は危険物安全週間推進ポスター等に活用する予定です。令和 2 年度のポスターモデルは、競馬の藤田菜七子騎手を予定しています。

2 令和元年度危険物事故防止対策論文

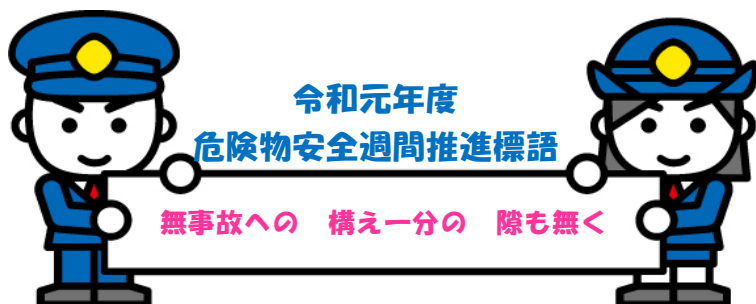
昨年、危険物施設における事故発生件数は過去最多となっており、危険物関係団体・業界や消防関係行政機関では、事故の発生防止に積極的に取り組んでいます。こういった危険物の事故防止対策を推進するため「危険物事故防止対策論文」を広く募集します。

募集期間 令和元年 10 月 1 日（火）～令和 2 年 1 月 31 日（金）

募集要項 どなたでも応募できます。詳細は別添 2 を御覧ください。

表彰 入賞者には、賞状及び副賞を授与します。

※危険物安全週間推進標語及び危険物事故防止対策論文各賞の表彰式は、令和 2 年 6 月の危険物安全週間中に東京で開催される危険物安全大会において行います。



連絡先 消防庁危険物保安室
勝本課長補佐
菊地係長、鈴木事務官
TEL 03-5253-5111(代表)
TEL 03-5253-7524(直通)
FAX 03-5253-7534



推進標語の募集

危険物の保安に対する意識の高揚と啓発を推進するため、毎年6月の第2週は危険物安全週間とされています。

この週間の行事を推進するため、危険物災害の防止と危険物の貯蔵・取扱いの安全を呼びかける標語を募集します。

なお、最優秀作は危険物安全週間推進ポスターに活用する予定です。

令和2年度のポスターモデルは、今年6月にスウェーデンで開催された「ウィメンジョッキーズワールドカップ」において総合優勝に輝いた、藤田菜七子騎手を予定しています。



藤田菜七子騎手

応募方法

- 郵便はがき又はWebによるものとします。
 - ・郵便はがきによる応募の場合は1枚につき標語1点とし、Webによる応募の場合は1送信につき標語1点とします。
 - ・郵便はがきでの応募は、郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・電話番号を明記して下さい。
 - ・Webでの応募は、下記あて先をご覧ください。
 - ・郵便はがき及びWeb(下記URL)以外での応募や記載事項に不備がある場合は無効とします。
- 応募作品は未発表のものに限ります。

応募資格

どなたでも応募できます。

締切

令和元年12月10日(火) 必着

選考方法

関係行政機関・学識経験者等による標語審査委員会の厳正な審査によって行います。

賞

- 最優秀作** 1点 消防庁長官賞と副賞 20万円
優秀作 1点 全国危険物安全協会理事長賞と副賞 10万円
優良作 10点 記念品

*副賞と記念品は危険物安全週間推進協議会からお渡しします。
 *入選された場合はご本人に通知するとともに、消防庁及び（一財）全国危険物安全協会のホームページや関係新聞・広報誌等に作品とお名前及びお住まいの都道府県・市区町村名を発表いたします。
 なお、入選作品の著作権は主催者に帰属するものとします。

あて先

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16 日本消防会館5階
 （一財）全国危険物安全協会内 **危険物安全週間推進協議会事務局**
 TEL 03-3597-8393
 URL <https://www.zenkikyo.or.jp/>
 （パソコン、スマホ、タブレット、携帯から応募可能です。）



スマホ、携帯の方はQRコード（上図）から直接応募できます。



令和元年度危険物安全週間推進ポスター

危険物とは

消防法で定められているもので、一般的に次のような危険性を持った物品をいいます。

1. 火災発生の危険性が高い
2. 火災拡大の危険性が高い
3. 消火の困難性が高い

*私たちの身近なものでは、ガソリン・灯油・油性塗料等があります。

主催：消防庁／都道府県／市町村／全国消防長会／一般財団法人 全国危険物安全協会

このリーフレットは危険物安全週間推進協議会が制作しています。

危険物安全週間について

目 的

今日、石油類をはじめとする危険物は、事業所等において幅広く利用されるとともに、国民生活に深く浸透し、その安全確保の重要性は益々増大しています。

このため、事業所等における自主保安体制の確立を呼びかけるとともに、広く国民の皆さまに対して危険物に関する意識の高揚と啓発を図ることとしたものです。

期 間

毎年6月の第2週（日曜日から土曜日までの1週間）

令和2年は、6月7日から6月13日まで

行 事

- 安全推進のための講演会、研修会等の開催
- 危険物の安全に関する標語募集
- 各種消防防災訓練等の実施
- 危険物保安功労者、優良危険物関係事業所等の表彰
- 危険物に関するポスター・パンフレットの配布等各種広報、啓発活動
- その他

推 進 団 体

危険物安全週間推進協議会

消防庁
都道府県
市町村
全国消防長会（消防本部・消防署）
（一財）全国危険物安全協会
（一財）消防試験研究センター
危険物保安技術協会
石油連盟
全国石油商業組合連合会
電気事業連合会
（一社）日本化学工業協会
日本ガソリン計量機工業会

ご応募待ってます！

ハガキで！

ネットで！



過去の推進標語（最優秀作品）

年度	標 語	ポスターモデル	年度	標 語	ポスターモデル
平成2年度	“まさか”より“もしも”で守ろう 危険物	日 陰 温 子	平成17年度	危険物 かさねる無事故の 金メダル	野口みずき
3年度	危険物いつも本番待ったなし	武 豊	18年度	自主点検 欠かさぬあなたに グランプリ	佐 藤 琢 磨
4年度	心・技・知・危険物には真剣勝負	三 浦 和 良	19年度	危険物目指せ無事故のMVP	井 口 資 仁
5年度	危険物その時その場が正念場	古 賀 稔 彦	20年度	安全へ確かなスマッシュ保守点検	瀬田玲子/小椋久美子
6年度	一瞬のすきも許さぬ 危険物	松 永 成 立	21年度	安全は 意識と知識と 心掛け	福 原 愛
7年度	確実な 攻守がきめての 危険物	羽 生 善 治	22年度	危険物 事故は瞬間 無事故は習慣	根 本 美 緒
8年度	危険物 むき合う心 いざ集中	沢松奈生子	23年度	危険物無事故のゴールは譲れない！	川 島 永 嗣
9年度	気を抜くな 扱う相手は 危険物	平 尾 誠 二	24年度	危険物 めざせ完封 ゼロ災害	田 中 将 大
10年度	安全は 日々の気持ちの 積み重ね	芹 澤 信 雄	25年度	あなたこそ 無事故を担う 司令塔	大 宮 間 あ や
11年度	危険物 一手先読む 確かな点検	梅 沢 由 香 里	26年度	危険物 読みはまっすぐ ゼロ災害	森田理香子
12年度	危険物 守りのかなめは 保守点検	古 田 敦 也	27年度	無事故へと 気持ち集中 はっけよい	遠 藤
13年度	危険物 めざすゴールは 無災害	田 中 雅 美	28年度	危険物 決めろ無事故の ストライク	上野由岐子
14年度	危険物 小さな油断も イエローカード	フィリップ・トルシエ	29年度	あなたなら 無事故の着地 決められる！	白 井 健 三
15年度	危険物 無事故の主役は あなたです	米 倉 涼 子	30年度	この一球届け無事故へみんなの願い	上 地 結 衣
16年度	危険物 ゆるむ心の 帯しめて	谷 亮 子	令和元年度	無事故への 構え一分の 隙も無く	清 水 希 容

（敬称略）

プライバシー保護及び個人情報の取り扱いについて

*インターネット標語応募の申し込みサイトについては、プライバシー保護の為SSL暗号化通信に対応しております。

*ご応募いただいた中での個人情報は、厳重に保管・管理し、入選等についてのご連絡にのみ使用させていただきます。

危険物事故防止対策論文募集

消防庁の統計によると、平成30年中の危険物施設における事故発生件数は609件で、これは、平成元年以降で最も事故が少なかった平成6年と比較すると、危険物施設は減少しているにもかかわらず、約2倍に増加しており、事故の発生状況は過去最多となっています。

このようなことから、今後も事故防止対策に取り組んでいく必要があり、安全で快適な社会づくりに向けて、危険物の製造、貯蔵、輸送、取扱いに係る事故防止を図ることを目的として、広く論文を募集します。危険物に係る事故防止や安全対策に関し、皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

論文のテーマ

危険物に係る事故防止や安全対策に関するもの。

提言、アイデア、経験等

事故防止及び安全対策に係わる提言、アイデア、経験等に関するもの

事故の拡大防止

実際に経験した事故等における対応をふまえ、事故の拡大防止について考察したもの

事故の分析

危険物施設において発生した事故の原因調査及び事例を分析、または、教訓とした、事故の発生防止対策、被害の拡大防止対策に関するもの

危険性評価手法

危険物施設等のハザードを抽出し、危険性を評価する手法の活用例

安全の科学技術

事故の防止対策及び対応策に関する科学技術の基礎及び応用に関するもの

どのテーマがいいかな??

職場等の安全対策

職場等における事故防止対策、安全活動等の自主的な取り組みに関するもの

事故防止に係わる知見の蓄積・教育方法

事故防止の観点からとらえられた危険物の貯蔵・取扱い上のノウハウの整理・分析事例及び教育（伝達）事例について

安全対策技術

設備、機器等の検査技術に関する安全対策
事故に関与するハザード（例えば、設計・整備・清掃不良、腐食、静電気火花）を除くための防止対策及び対応策に関するもの

危険物、少量危険物及び指定可燃物に係わる安全

危険物、少量危険物及び指定可燃物の貯蔵、取扱い及び輸送に係わる安全について

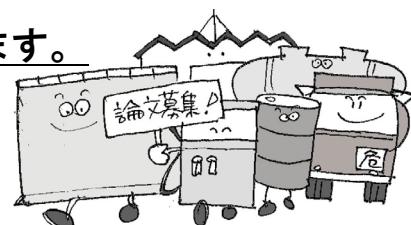
事故防止対策・安全対策に関するその他のもの

応募資格

特に制限はありません。どなたでも応募できます。

応募締切

令和2年1月31日(金) 必着!



選考方法

学識経験者、関係行政機関の職員等による審査委員会において、厳正な審査を行います。

賞

消防庁長官賞	賞状及び副賞（20万円）	<2編以内>
危険物保安技術協会理事長賞	賞状及び副賞（10万円）	<2編以内>
奨励賞	賞状及び副賞（2万円）	<若干名>

※ 副賞は危険物保安技術協会からお渡しいたします。

受賞の表彰式は、危険物安全週間（令和2年6月の第2週）中に東京で開催される、危険物安全大会において行います。

応募方法

- ① 論文は、日本語で書かれたもので未発表のものに限ります。ただし、限られた団体、組織内等で発表された場合は応募可能とします。（一部に限り、既発表の部分を使用する場合は、その旨を本文中に明記してください。）受賞論文は、危険物保安技術協会のホームページに発表されますので、必要に応じて関係者の事前の了解を取ることをお願いします。また、著作権等の問題を生じないようにご注意ください。
- ② A4(字数換算：1 ページあたり 40 字×40 行程度) 1 枚以上 10 枚以内程度としてください。なお、図表及び写真は、文中への挿入、本文と別に添付のいずれも可能です。ただし、本文と別に添付する場合に、字数換算をA4(1 ページあたり 1,600 字程度)で行い、全体を10枚相当分以内程度としてください。
- ③ 論文の概要を添付してください。
- ④ 論文は、「論文タイトル」、「氏名（ふりがな）」、「連絡先（住所、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス）」及び受賞論文発表時に明記する勤務先等がある場合の「勤務先名称及び所属」を記載した用紙を添付のうえ次のあて先（E-mail 可）までお送りください。
- ⑤ 共同で取り組んでいる活動の場合には、連名の応募も可としますが、代表者が分かるように記載ください。
- ⑥ 論文は、返却いたしません。

あて先及びお問い合わせ先

 危険物保安技術協会 事故防止調査研修センター
〒105-0001
東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル
Tel 03-3436-2356 Fax 03-3436-2251
<http://www.khk-syoubou.or.jp/>



主催 消防庁、危険物保安技術協会
協賛 全国消防長会、一般社団法人日本化学工業協会、石油化学工業協会、石油連盟
電気事業連合会、一般社団法人日本鉄鋼連盟、一般社団法人日本損害保険協会
公益社団法人日本火災学会、全国石油商業組合連合会（順不同）